

令和6年実施 町政懇談会の記録（岡田校区）

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
大間	4月24日	01防災	一次避難所	指定避難場所は北伊予中学校だが、一次避難場所は集会所となっている。一次避難所の定義等を含めて、危機管理課に防災の講習会を依頼しているので、大間地区の方には是非参加してほしいと考えている。	危機管理課	一次避難所である集会所は、安否確認をして、まとめて指定避難所に移動するための集合場所のように捉えてほしい。 <b>令和6年度大間地区での防災講座実施済み</b>
大間	4月24日	12その他	合併浄化槽の補助金	合併浄化処理槽の補助金が復活したが、下水道を推進する地域と推進しない地域に分けて、推進しない地域には補助を手厚くするなどしてはどうか。	町民課 上下水道課	役場周辺などの人口密集地域を下水道の推進地域としている。推進地域でない地域には、合併浄化槽の設置を推進するためにも補助金が必要だと考えて復活させた。
大間	4月24日	07高齢者	ゴミ出し	高齢者等のゴミ出しについて、協力してくれた団体等に町内だけで使えるポイント制度を導入してはどうか。	町民課	アイデアの一つとしていただいております。
大間	4月24日	02道路・交通・建物	コミュニティバス	コミュニティバスについて、手を挙げたら停まってもらえるようなフリー乗降制はできないか。導入済みの自治体もあるようである。	町民課	アイデアの一つとしていただいております。
大間	4月24日	02道路・交通・建物	道路の規制	町道に「車両制限や歩行者専用」などの規制をかける場合は、道路管理者に権限があると、警察（公安）から聞いたがこれは正しいか。大間226-1東の道路（延長100m程）は「木杭と板」で路肩をつくり、道を広げているが、その部分（端部）が弱いため管理者は黄色いカラーコーンを置いて端部を通らないように注意喚起している。規制をかけるなど対応を考えてはどうか。	まちづくり課	道路管理者は施設の管理に努めるもので、町道に「車両規制や歩行者専用」などの規制をかける権限は警察（公安）にある。「信号設置など、地元要望の取りまとめ」として町が働きかけるケースがあるが、そのすみ分けについては整理して後日、回答する。また、大間226-1東の道路の件もあわせて回答する。 <b>交通規制は、公安委員会又は道路管理者が行う。交通規制をする場合は、お互いが意見聴取を行って実施する。当該町道は、道路敷地と隣接する土地との境界が筆界未定となっており、擁壁等の構造物を施工できない状況であるが、土羽の状態であると路肩が崩れて西側田んぼの耕作に影響があるため簡易な土留(板)を設置し、カラーコーンを置いて車両が路肩に寄らないように保護している。筆界が確定するまでは現状のまま通行していただくことを御理解願いたい。</b>
大間	4月24日	02道路・交通・建物	道路の規制	中川原橋から出合大橋までの農免道路（現在は町道）は元々、農耕車優先の道路だった。最近是一般車両がスピードを出したり、農耕車に気を配らず利用しており、事故が起きないか心配である。昔は「速度取締り」なども行われていたが、最近では余り見ない。現状を勘案し、「農耕車優先」の看板表示ができないものか。	まちづくり課	当該道路は農免道路として築造されたが、利便性や維持管理の観点から町道に認定された。事故抑止は運転者の義務であり、農作業する方も、注意をする必要がある。現状、速度制限（現在40キロ）もかけられず、道路を広げるには事業費が大きくなる。その他県内や他市町で対応事例などないか、確認して後日回答する。 <b>農免道路は、利便性が良く交通量も多いことから、維持管理の観点も含めて平成元年に町道として認定された。町道は、道路法及び道路交通法の適用を受ける道路であり、速度制限等の通行にかかる制限は警察の決定事項であるため、農耕車両等についての優遇はできない。町道に「農耕車優先」等の看板を設置すると、農耕車の停車を容認することとなるため、看板の設置もできない。他市町にもそのような事例はなかった。農業従事者各々が、各自の進入路に車両を駐車するなどの対処をしていただきたい。</b>
大間	4月24日	02道路・交通・建物	コミュニティバス	利便性向上のためにコミュニティバスをもう一台増やすことはできないか。	町民課	もう一台増やすのはコスト増となり難しい。現在も利用者があまり多くない状況である。町内の公共交通のあり方について、町内の交通事業者とも連携して検討を進めていこうと考えている。
大間	4月24日	02道路・交通・建物	乗り合いタクシー	乗り合いタクシーを導入できないか。	町民課	乗り合いタクシーは利用者は安く乗れて助かるが、タクシー事業者は経営が苦しくなり、他の自治体ではタクシー事業者が結果的に倒産してしまった例もある。松前町に適した公共交通のあり方を検討していきたい。
大間	4月24日	02道路・交通・建物	耐震工事	家屋の耐震診断の結果、耐震工事を行うとなった場合、多くの費用が必要となるが何か方策はないか。また、液状化についての対策は。	まちづくり課	耐震工事への補助金を少し増額したところであり、対象も拡充していきたいと考えている。
大間	4月24日	02道路・交通・建物	ブロック塀	ブロック塀の倒壊防止のため、町独自で高さを規制できないか。	まちづくり課	過去の防災関係の会議で、ブロック塀を低くすることについて検討したが、プライバシーの問題等により、独自の規制は困難であった。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
大間	4月24日	02道路・交通・建物	住宅	町内に安い賃貸物件がないと思う。公営住宅は建てられないのか。	まちづくり課	今年度から公営住宅についての長期計画の策定に取り組むところである。コストを抑え、人口減も見据えて、松前町にとってより良い計画を考えていきたい。
大間	4月24日	01防災	指定避難所	大間から岡田校区の学校までは避難先としては距離がある。何かよい避難方法はないか。	危機管理課	大間の指定避難所は北伊予中学校である。防災訓練等で避難の訓練もされているので是非参加してみしてほしい。
大間	4月24日	01防災	指定避難所	白鶴保育所を指定避難所にできないか。	危機管理課	白鶴保育所を指定避難所にすると、大間や上高柳の人で溢れてしまう。災害時の白鶴保育所の活用方法については今後検討したい。
大間	4月24日	05子育て	白鶴保育所	白鶴保育所に運動場がない。近隣の農地を購入して運動場を作るなど考えられないか。	福祉課	運動場は園舎の西側にある。子ども達にとって、どの場所に運動場や遊具があればよいかを現場の保育士等にも相談した上で運動場を西側に設けている。
大間	4月24日	02道路・交通・建物	道路の舗装補修	大間342-5の少し西の交差点から中川原集落へ続く道路は、舗装してから50年近く経過し、老朽化している。道路管理者として大丈夫か確認してほしい。	まちづくり課	現地を確認し、後日回答したい。  現地確認の結果、舗装の老朽化は見受けられるが、クラック等は発生しておらず、舗装補修の対象ではないと考える。舗装が剥げる等の特段ひどい状況の場合は、部分補修を行うことで対応させていただいているので御理解願いたい。
大間	4月24日	12その他	障がい者	町内企業の障がい者の雇用について、募集情報が集約されているところがあれば助かる。	福祉課	いいアイデアであると思うので検討したい。今年3月に障がい者についての基本計画（6年間）を策定しており、障がい者の雇用の確保等についても盛り込んでいる。その具体的な取組として、今の意見等も踏まえながら今後の事業を進めていきたい。
大間	4月24日	02道路・交通・建物	公園	有明公園のゴミ箱を撤去したらどうか。ゴミは持ち帰ってもらうのが当然である。	まちづくり課	町管理の公園について、自動販売機のゴミ箱以外のゴミ箱は撤去していると認識している。現地確認のうえ、後日回答したい。  まちづくり課で管理する公園について、ゴミ箱の利用を原則中止しているが、大字が利用を希望する場合は、大字が処分する条件で利用させていただいており、有明公園にもそのゴミ箱がある。なお、大間区長からゴミ箱を増設したい旨の問合せがあったが、新たに増設する予定はない旨を区長に回答して了承いただいている。
大間	4月24日	02道路・交通・建物	移住者向けの情報発信	移住してきた者だが、移住するに当たって必要な情報を得るのに苦労した。空家の情報など、移住希望者向けにホームページ等でもっと情報発信すべきでは。	財政課	効果的な情報発信に努めたい。
大間	4月24日	02道路・交通・建物	情報発信	町内の病院や業者の情報を得やすくするように、ホームページから医師会等のサイトにリンクで飛べるようにできないか。東京都練馬区などは充実している。	財政課	他の自治体も参考にして、効果的な情報発信に努めたい。
大間	4月24日	12その他	職員提案	町職員が施策等を提案する制度やノルマはないのか。ノルマを決めた方がよいのではないか。	財政課	職員提案の制度はある。ノルマは現在のところ設けていない。
上高柳	5月27日	04環境	ゴミ出し	ゴミ出しのボランティアをしているメンバーがいるが、今後は高齢化によって活動が困難になると思われる。何か対策は。	福祉課	地域で支え合うボランティア団体等に対して、立ち上げ資金と運営費を補助する制度を作っているところである。準備できしだい広報まさきでお知らせしたい。  補助要綱を整備し、6月の民生委員定例会及び広報まさき7月号でお知らせした。
上高柳	5月27日	12その他	ふるさと納税	他県のある自治体では、地元産のサツマイモの加工品をふるさと納税の返礼品にして売上を伸ばしていると聞いた。松前町でも、生産を推奨しているサトイモの加工品を作って、ふるさと納税の返礼品にするなど検討したらどうか。	財政課	農産物などで新たな取組ができないか研究したい。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
上高柳	5月27日	06学校	部活動	中学校の愛護の役をしているが、部活動等で活用する後援会費を各家庭から集める作業が保護者の大きな負担となっている。負担を減らすために補助金を出してもらうなど、対策を考えてもらえないか。	学校教育課	部活動の費用は受益者負担が原則であるが、部活動で県大会等に出場すると、町から交通費の半分が補助され、他市町と引けを取らない程度の支援はしている。後援会費は学校というより昔からの地域で子ども達を支えようという取組が残っているものでできれば続けてもらいたい。保護者の負担が大きくなっているとのことであるが、できる範囲でという形というのが現状かと思う。町としてできることがあるかどうか検討はしたい。
上高柳	5月27日	01防災	白鶴保育所の避難所としての活用	昨年、白鶴保育所を一次避難所として利用することについて話をしたが、具体的な基準や運用方法は。また、避難所として利用するため、鍵の管理を地元の区長もできるようにお願いしたい。	危機管理課	避難所として利用する際の基準は定めていないので、緊急時等、必要と感じた場合に利用していただくのでよい。鍵の管理については検討したい。
上高柳	5月27日	01防災	白鶴保育所の設備	先日、落雷によって、この辺りが停電になったが、白鶴保育所だけは明かりがついていた。そのような設備があるということか。	福祉課	自家発電設備によるものと思われる。
上高柳	5月27日	01防災	白鶴保育所の避難所としての活用	白鶴保育所を指定避難所とできない理由は。	危機管理課	災害時には、その対応に従事することとなる自治体職員やインフラ、電気、通信関係の方の子ども達を受け入れる施設として必要であるため、今のところ指定避難所の指定は考えていない。しかし、一時避難所としての利用は可能であるので、緊急時等、必要な場合は利用してもらいたい。
上高柳	5月27日	02道路・交通・建物	公園整備	重信川の土手周辺（堤内、外）を有効利用し、公園などを造ってはどうか。自転車やウォーキングで利用する人も多し、トイレもない。昔、レクリエーション（遊具）やテニスコートがあったが、施設も古くなっており、将来に向けて考えて欲しい。	まちづくり課	重信川は一級河川のため、管理者の国土交通省と協議をしたい。国交省には平成29年の大雨以降、重信川堤防の対策工事を行う等、治水事業を重点的に進めて貰っている。（主に上高柳、西高柳あたり）御提案の施設やトイレなどをつくると維持管理が必要となるが、この点も考慮したい。  重信川の堤防周辺を利用した公園やトイレ等の設置について、国土交通省松山河川国道事務所に問合せたところ、河川とそれにつながる街を活性化する「かわまちづくり」という事業を展開していることを聞いた。 「かわまちづくり」の事業は、事業主体者となる自治体や企業、各団体（地元組織を含む）が河川占用の許可を得て河川区域に施設を設置し、維持管理を行うものであり、現在においても、大字に御協力をいただき維持管理を行っている。 今後大字で検討いただき、強い要望があれば検討をさせていただく。
昌農内	5月30日	02道路・交通・建物	河川への転落防止	別当大橋の東の北、ゴミ箱が退いた所に開口部が出来たため、子供達が転落しそうである。今は、コーンを置いている。県か町か担当は分からないが、転落防止策をお願いします。	まちづくり課	現地を確認し、後日回答する。  河川管理の所管である中予地方局管理課に確認したところ、県では設置出来ないため、大井手川の河川占有をして町で設置してほしいとのことであり、町で河川占有してガードレールを設置することとした。
昌農内	5月30日	02道路・交通・建物	思い通りのポールの改善	思い通りの高架橋を西へ降りたところのポールの改善を要望したが、古いものはそのまま、改善されていない。どのようにしているのか。	まちづくり課	現在検討中であり、後日回答する。  思い通りの側道に設置されているポールについて、古いポールを撤去し新しいポールに設置替えとするが、本数については減らして改善する。
昌農内	5月30日	02道路・交通・建物	ランドセルカバーの贈呈	交通安全のため、町内小学校の新一年生に、ランドセルカバーを贈ってほしい。贈呈式などを実施すれば、交通安全のアピールにもなる。松山市は実施していると聞いている。	学校教育課	現在の各小学校での状況を確認し、後日回答したい。  各小学校の状況を確認したところ各学校で状況が異なっており、北伊予小は伊予交通安全協会北伊予支部から、岡田小は伊予地区交通安全協会岡田支部及びコープ共済から新一年生に対しランドセルカバーの贈呈を受けており、松前小は贈呈を受けた実績はないということであった。また、松山市については、新一年生に対しコープ共済からランドセルカバーの贈呈を受けており公費では支出していないということであった。 町としては新一年生に対し防犯ブザーを公費により支給しており、今のところランドセルカバーを贈呈することは考えていないが、学校や保護者の意見を聞きながら考えていきたい。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
昌農内	5月30日	12その他	組の活動	組の活動について、加入者の減少、高齢化によって活動（水路清掃等）の継続が難しくなっている。何か策がないものか。	町民課	どの地域にも共通する課題であり、今後対策を検討していく必要があると考えている。
昌農内	5月30日	02道路・交通・建物	交差点の事故防止対策	大国橋（南）の交差点で事故があった。ガードレールも昔の事故の際、壊され、放置されている。停止線も薄くなっており、事故の再発を懸念している。先般窓口を訪ねると、「町は特に対応しない」の回答だったが、道路の優先の表示や赤色舗装で交通事故を抑止する等、継続して対応を要請する。	まちづくり課	現地を確認し、後日回答する。 ガードレールはまちづくり課において補修、事故再発防止のため注意喚起の看板を危機管理課で設置することとした。
昌農内	5月30日	02道路・交通・建物	想い通りの舗装と清掃	想い通りについて、先般舗装の終わった箇所から、西側の舗装対応はどうするのか、同じく、路側側溝の清掃の予定はあるのか、「松前町の顔」となる道路である。綺麗にして管理を欲しい。	まちづくり課	状況を確認し、後日回答する。 想い通りの舗装補修の件については、今年度に施工した部分が最終である。路側の側溝清掃については、清掃費は予算化が必要であり、毎年継続的には清掃は困難であるが、計画的に清掃することを前向きに考えていく。
昌農内	5月30日	02道路・交通・建物	想い通りの街灯	想い通りの北、昌農内側に街灯が少ない。西古泉側には道路照明や防犯灯が多くあり、夜も歩きやすい。北側集落内は通学路でもあり、安心して子供たちが行き来できるように防犯灯を要望する。	まちづくり課	状況を確認し、後日回答する。 想い通りは、道路法第37条第1項の規定に基づき緊急輸送道路や避難路として指定されており、地震時の電柱の倒壊を極力避けるため、道路敷地内には新たな電柱を建てること出来ないことから、道路照明を設置できないため御理解いただきたい。
昌農内	5月30日	06学校	岡田小学校体育館	学校体育館を使わせてもらっているが、岡田小学校体育館が滑って危ないので、ワックスがけをお願いしたい。	学校教育課	状況を確認し、後日回答する。 学校では、各学校の判断で年に一回程度ワックスがけを行っている。今回の意見について岡田小学校に伝えて、ワックスがけをしていただくよう依頼した。
昌農内	5月30日	02道路・交通・建物	想い通りのコケ等	高架橋を東へ降りたところの北側・南側の歩道や路肩部コケと柵から木が生えているので対応をお願いしたい。	まちづくり課	現地確認し、後日回答する。 木については撤去、コケの撤去は側溝の清掃時に撤去する。
昌農内	5月30日	02道路・交通・建物	高架橋下の除草	高架橋下のクローバーやよもぎ草について、浄水場関連の水道業者は「草枯らし」をまいて管理している、町の対応は、恒久的な対応はしないのか、見栄えが悪い。	まちづくり課	現地確認し、後日回答する。 高架橋下のクローバーやよもぎ草の対応については、除草剤を散布し、枯れた後に撤去する。
昌農内	5月30日	02道路・交通・建物	道路清掃等の管理	道路清掃や除草発注時の町監督員の指示、確認の徹底。「指摘場所が適切にできているか」の徹底確認をすべき。	まちづくり課	状況を確認し、後日回答する。 道路清掃や除草発注時の町監督員の指示、確認の徹底については、今後も引き続き的確な指示と検査を行う。
昌農内	5月30日	09観光	観光協会との連携	町内の観光ガイドを行うボランティア団体に所属しているが、参加者集めに苦勞している。新たに町から観光協会へ補助金が出るようになったと聞いたので、観光協会の活動がより活発になり、町内への観光客が増加することを期待している。	産業課	観光協会はこれまで事務局1名で活動していたが、今後はスタッフを雇用して、幅広い活動ができると思うので、観光ボランティア団体等との連携も期待している。
恵久美	6月3日	01防災	自主防災組織の強化	各地区の自主防災組織間での横の連携を強化するとともに、各自主防災組織のレベル向上のための取組をお願いしたい。	危機管理課	自主防災連合会を立ち上げて、総会と研修を実施しているが、自主防災組織のレベル向上のため、連携の強化について研究したい。 今年度（11/13、1/15）、指定避難所（岡田中学校）における各自主防災組織との連携について検討会を実施
恵久美	6月3日	02道路・交通・建物	カーブミラーの設置	カーブミラーの設置を要望したが、行き止まりのため効果が上がらないとの回答だったが何とかならないか。	危機管理課	持ち帰り検討したい。 現場確認を行い、カーブミラー設置済み。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
恵久美	6月3日	02道路・交通・建物	地域公共交通	ひまわりバスの運営費は高いため、他の手段の方がよいのではないか。	町民課	ひまわりバスは、65歳以上が無料であり、利用者も結構いらっしゃるので維持したいと考えている。運営費は安くないが、そのためにもふるさと納税等の稼ぐ力を高めていきたい。また、令和7年度においては、他の手段として、相乗りで利用できるデマンドタクシーの実証実験を計画している。
恵久美	6月3日	01防災	防災に関する情報共有	防災講座等で使用できる情報源(素材)を作って共有してほしい。	危機管理課	危機管理課が防災講座を実施しているが、今後、それらで使用できる素材について連携していきたい。
恵久美	6月3日	12その他	D Xの推進	役場への各種申請等をスマホでできるようにお願いしたい。	財政課	町の公式LINEで各種申請が可能となっている。オンラインで申請できるものを増やすとともに、書類への押印廃止を進めているところである。
恵久美	6月3日	01防災	関係機関の連携	危機管理課、消防署、消防団は、災害時に連携して対応できるのか。	危機管理課	災害時には役場に災害対策本部を設置し、災害対策本部から各機関等に指示や連絡を行うことになる。また、毎年、水防訓練や防災訓練等の各種訓練を消防署、消防団、危機管理課が連携して実施しており、災害時に迅速かつ的確に各機関が連携できるよう努めている。
恵久美	6月3日	01防災	防災行政無線	防災行政無線が聞こえにくい。	危機管理課	場所を確認のうえ検討したい。 また、防災行政無線が聞こえなかった場合の対策として、電話で防災行政無線を聞けたり、メールやLINEで情報が届くような仕組みを作っているのを活用していただきたい。
恵久美	6月3日	02道路・交通・建物	渋滞緩和	土日の国・県道の渋滞緩和について対策は。	まちづくり課	道路整備や看板設置などを行ってきた。今後も国・県へ要望をしていきたい。
恵久美	6月3日	06学校	部活動の地域移行	部活動の地域移行の状況は。	社会教育課 学校教育課	部活動の地域移行については、地域の受け皿の確保が課題となっているが、引き続き受け皿の確保に努めるとともに、部員が少なく部活動の存続が困難な部においては、町内の他の学校と合同で活動できる、「合同部活動」という方向で検討しているところである。
恵久美	6月3日	05子育て	学習塾の費用	学習塾の費用が高く、行きたくても行けない家庭があるが対策は。	子育て支援課	県内の他の自治体で、公民館で低所得者向けの塾を開講しているところがあるので、本町のニーズに合った支援を研究したい。
西古泉	6月25日	02道路・交通・建物	通学路の転落防止	想い通りの高架橋から北へ100mくらいの農業用ハウスの西の水路(100~150m区間)は高低差が約1mくらいあり、通学中の子供たちが転落する危険がある。転落防止策などを設置して欲しい。	学校教育課 まちづくり課	場所を教えていただき、現地確認の上、回答する。 <b>同様の箇所は多数あるため転落防止柵の設置は今のところ考えていないが、「松前町通学路安全対策推進会議」に岡田小学校から要望を上げてもらえるようにまちづくり課から学校教育課に連絡があった。 同推進会議において確認及び協議したところ、幅員が狭小で転落防止柵の設置が難しいことから、引き続き学校での通学指導を実施することとした。</b>
西古泉	6月25日	02道路・交通・建物	道路拡幅	伊予鉄岡田駅からスーパーを經由し、国道まで出る道路が非常に狭く、利便が悪い。拡幅してもらえると嬉しいが、現在、どのような状況か教えて欲しい。	まちづくり課	御指摘の道路の拡幅は従来から愛媛県に要望しており、県も予算を付けて調査等を行っている。今年度も「知事要望」を上げ、進捗を図って貰う旨、お願いしている。
西古泉	6月25日	05子育て	教育後援会費の補助	町内の中学校では、地域の愛護部が地域の皆さんから教育後援会費をいただき、部活動の全国大会の出場経費等に充てている。この仕組みは40年程前から続いているが、近年は教育後援会への加入について理解を得ることが難しくなっていることと、各戸訪問して集金する方の負担も大きいこと、今年度から各戸訪問に代わって回覧方式によって入会希望者を募る方法に転換した。このため会費収入の大幅な減少が見込まれており、今後の部活動の運営資金が不足することが懸念されることから、町から部活動の運営費に対して補助をしていただくことはできないか。	学校教育課	部活動は教育課程外の活動のため、補助金の対象にするのが難しいために、地域で支える後援会の仕組みができてきたと認識しているが、どの校区においてもその集金方法等が時代にそぐわず、会費集めに苦労されていると聞いている。現在町から後援会へ、部活動に係る補助として、旅費と宿泊費について県大会は1/2、四国大会以上では2/3に当たる額の補助を行っており、県大会以上の大会への参加経費についてかなり負担軽減が図れていると認識している。今後、部活動は地域へ移行される流れであることから、後援会のあり方もそれに伴って変わってくるのが予想される。できるだけ支援の方向は作りたいが、財源的にもこれ以上の支出については難しく、できる範囲のことを進めたい。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
西古泉	6月25日	12その他	海岸に駐車場とトイレ	松前町には誇れる自然、「海」がある。清掃活動等を通じて、北黒田や塩屋海岸によく行くが、「トイレや駐車場がないことから参加者の利便が悪い、子供達も長く遊べない」の意見をよく聞く。海浜敷は町の管理ではないことは分かっているが、何かそういう施設をつくる考えはないか。	まちづくり課	そういった取組は現在のところないが、先日、国交省の方と話す機会があり、海岸の活性化についても話をしたところ、県への要望が必要になるが、町からの働きかけはだけでなく、ボランティア団体や自然活動団体の海を使った活動などの気運醸成の状況を以て、県に要望していけばよいのではないかと助言をもらった。今後、そういった団体の活動等による気運の醸成があれば、町としても県に働きかけていきたい。
西古泉	6月25日	02道路・交通・建物	道路改良	想い通りの南の開発地（約15戸）の進入道路（約80m）の路肩が未舗装であるため、利便が悪い。過去にも要望はしたが、採択されず、住民は平成元年以降、ずっと我慢してきた。町長も変わり、新たな取り組みとしてお願いしたい。  6/26（水）、午前カワサキさん来庁、居住者は悪くない。個人地、余ない道路の観点だけでなく、開発地であったこと（町の関与）など、過去の経緯も含め、御判断願いたい。	まちづくり課	令和3年に地元要望として、提出いただき、「拡幅には用地の提供が必要、提供後に事業化（の時期）の判断」と回答している。路肩の未舗装部は「余ない道路」であり、田んぼの一部であるため、所有者の寄付及び分筆が必要となる。当該事業を進めるには、地元要望事業（生活道）として、地区からの働きかけが必要不可欠である。 仔細を把握したいため、持ち帰り案件としたい。  本件道路は、建築後退等の寄付と同じ考え方とはならないので、所有者個人または大字において、当該土地の分筆をしてもらう必要がある。土地の代金については、町が買収することはできないため、大字と所有者とのご協議をお願いする。 分筆後、土地所有者から寄付をしていただければ、町で舗装することは可能。
西古泉	6月25日	12その他	採水補償	東レの採水補償金について、毎年60万6千円が字に納付されているが、昔の取り決めであり、最近では字の農業用ポンプも古くなり、管理費も増大している現状に鑑み、増額してもらえないのか。	産業課	採水補償金は過去の覚書に基づき、納付されている。金額を増額してほしい旨の要望は難しいと思うが、地区懇談会で話が上がったことは伝える。  産業課から東レ総務課に「地域から要望があったこと」を伝えた。
西古泉	6月25日	02道路・交通・建物	道路の剪定	想い通りと恋泉通りの植樹管理をしっかりとしてほしい。「想い通り」について、団地北の歩道の高木の枝葉が張り出しているため、照明が暗くなり、歩道が良く見えない状況である。管理者はこのような状況を把握しているのか、年2～3回の剪定が必要、きちんと管理してほしい。「恋泉通り」についても、歩道の樹木が横に張り出し、歩行者や自転車の往来の邪魔をしている。同様に知っているのか、適切に管理してほしい。	まちづくり課	両道路とも、現状を確認し、対処致したい。  「想い通り」及び「恋泉通り」は、年1回剪定作業を委託して実施している。年1回の剪定作業後に伸びて通行等に支障が生じた場合は、支障部分のみ剪定作業を実施する。 「恋泉通り」については、道路構造令上、1mの管理施設帯に植生しており、動線上、枝葉が歩行者の動線を阻害するとは考えづらいが、支障があった場合は剪定作業を実施する。
西古泉	6月25日	12その他	公共下水道	下水道の区域を広げ、西古泉（以東）まで、下水道を進めて欲しい。	上下水道課	公共下水道事業は国策として、主に市街地（人口密集地）で進めてきたが、50万円/mと事業費が非常に高く、全国的にその在り方について、見直しをせまられている。本町も一般会計から約3億円を出資している状況に鑑み、今後は公共下水道区域の見直しを考えている。市街地（人口密集地）以外は他の処理方法が妥当であるの観点から、西古泉（以東）での公共下水道の考えはない。
塩屋	6月27日	12その他	入札制度	入札制度について、近隣市町と同様に「事前公表制度」を導入し、技術職員を守るような考え方を持ったらどうか。	会計課	関係団体の意見を聞きながら、「事前公表」について、検討したい。  松前町土木部会及び松前町管工事業協同組合との意見交換会の実施並びに町内業者に対してのアンケート調査を行った結果、事後公表で支障はないとの意見が多かった。また、国は事後公表を推奨しており、町も事前公表と事後公表のメリット及びデメリットを考えた上で、今後も事後公表とする。なお、技術職員に対しては、講習や研修を通してコンプライアンスに対する意識の向上や知識の習得ができるよう努める。
塩屋	6月27日	12その他	町の職員数	様々な政策を実施するうえで、町の職員数は足りているのか。平成の大合併以降、県内の他市町は職員数が減ってきているが、松前町だけ微増しているようである。	総務課	他の自治体は合併によって職員数が超過状態となり、徐々に削減している状況である。本町の職員の定数は一定数のままであったが、業務の複雑化等により時間外勤務が増加するとともに、職員の病休、育児休暇等の増加により、実質的に働ける人数も減ってきている。本町と同規模の自治体と比べても本町の定員数は多くはなく、職員の定数を引き上げることで実質的に働ける職員数を確保し、多様化する業務等へ対応できる体制を作ることを検討している。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
塩屋	6月27日	02道路・交通・建物	集落内の道路利用	農作業時には田に車を入れるようにしているが、雨の日等は田に入れるのが難しく、道路に車を停めていると、工専企業の出退勤車両がクラクションを鳴らしたり、近くをすり抜けたたりして驚く。大型車は西の海岸部を通っているが、一般車両は昼夜問わず集落内のいろんなどこから（東西の道、5～6ヶ所）生活道路に進入し、マナーも悪い。何とか呼びかけができないものか。	まちづくり課	工専企業への呼びかけ、注意喚起の看板設置等、地域と一緒に考えたい。細かな御意見を伺いたい。町は事例などを確認する。  企業への呼びかけは地域と役場が一体となって行う方向で検討。「地元車両優先」などの看板は、他事例を参考に研究する。
塩屋	6月27日	12その他	外国人のマナー	隣の地区では、外国人が大勢で自転車に乗って道いっぱいに広がって無灯火で通っていると聞いた。	町民課	外国人の方は、日本の文化やマナーを知らないことが原因かもしれない。町民課のコミュニティ係とも、外国人の方向けに文化やマナーを知ってもらうためのコミュニティ作りができないか研究している。
塩屋	6月27日	12その他	町職員のパートの割合	町職員のパートの割合はどのくらいか。	総務課	正職員の会計年度任用職員の割合は約半々くらいである。
塩屋	6月27日	08農業	今後の農業施策	農業後継問題や農地の管理のほか、今後の農業について、町はどのように考えているのか。	産業課	今後は、農地の集約化、法人化、高利多売が理想であり、そういった取組を町としてサポートしていきたいと考えている。
塩屋	6月27日	08農業	農地の集約化	農地の集約化は大変である。皆、先祖代々の土地を安く売るよりも少しでも維持していこうとする。ハードルは高いと思う。	産業課	集約化は簡単ではないが、地区によって考え方も異なると思う。今地域ごとで作成してもらっている地域計画で集約化の方向性について検討してもらいたい。
塩屋	6月27日	01防災	排水機場	秋の台風時期に上流からの雨で工業団地の道路が約30cm程度冠水することがある。現在対策をしてもらっている排水機場の完成時期はいつ頃か。	まちづくり課	排水機場の建設は段階的に進めることとなっており、現在は遊水池の中の工事を実施しており、次の段階として土手を渡すための送水管を設置し、最終段階としてポンプを設置することになる。完成は令和8年3月の予定である。
塩屋	6月27日	08農業	農地	農業をしており農地も所有しているが、農業をしてくれる後継者がいない。農地を手放したいと考えているが何かよい方法はないか。	産業課	誰かに耕作してもらうのではなく、農地を手放すということであれば、他の農業者への売買ということになる。  「農業委員会」と言う組織があり、地域の農業・農地に精通した人が委員を務め、月1回の会議の中で「作り手の斡旋など」も協議される。個別案件として窓口を訪ねる様にされたい。
塩屋	6月27日	08農業	農業用ポンプ	農業用ポンプの電気代について、他の地区では町が支払っていると聞いている。塩屋地区「和多都見神社の北」のポンプは以前、町が電気代を払っていたと聞いている。また、そのポンプ場は現在、蓋をして使っていない。どのような経緯か教えて欲しい。	産業課	町内に農業用ポンプは百数か所あり、その電気代は各地区が支払っている。例外として、岡田校区の二十数か所は「東レ地下水取水の関係」で昔から町管理ポンプとして位置付け、電気代を町が支払っている。神社北のポンプ場の経緯については調べて回答する。  当該ポンプ場は、かつて町管理ポンプとして町が電気代を払い、塩屋地区が使用していた。しかし、令和4年9月頃、長らく使用がないことに気づき、塩屋区長と協議を行い、「今後も使用予定が無い」とした地元の判断を受け、電気契約を解除したものである。なお、後の施設の除却についても、土地改良事業が可能であることを伝えている。
北川原	8月21日	02道路・交通・建物	組内の集会所	〇〇組から字の集会所までは遠いため、組内でお金を出し合って、組内で使用できる施設を建てているが、備品等が古くなってきている。町から援助などを受けられないか。	町民課	〇〇組は認可地縁団体となっているため、宝くじ等の助成を受けられる可能性があるため、持ち帰って確認したい。  〇〇組に宝くじのコミュニティ助成事業を案内した結果、備品等の要望が提出されたため申請書を提出している。採択・不採択の結果は令和7年4月の予定である。
北川原	8月21日	04環境	外国人	町内に在住している外国人のマナーが悪いと感じることがあるが対策は。	町民課	外国から来た方は、日本のマナーを知らないが故にマナー違反となってしまう場合があるので、マナー等を教えることが必要だと思う。外国人の方には特にゴミの出し方が分かりにくかったりするので、雇用者側から説明してもらうなどしている。また、今年度、ごみ分別表の英語とベトナム語を作成し、HP等で公開するとともに、転入時に配布している。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
北川原	8月21日	02道路・交通・建物	市街化区域の拡大	北川原地域は調整区域で、家が建ちにくい。一方で農業者も減少し、農地の管理も難しくなっている。この状況は今後、どんどん加速化してゆくと思う。市街化区域の拡大は難しいと思うが、我慢強く、国や県に働きかけを行うなどし、農村部の将来について考えていただきたい。	まちづくり課 産業課	町内いろいろな地域で御意見をいただくが、線引きの見直しは広域的な観点から、「愛媛県の権限」になる。県内、工業用地は「地区計画」により、進んでいるが（伊予市、東温市、松前町）、宅地開発に関しては「市街化区域内に宅地がある」ということで、調整区域内での「地区計画」は進んでいない。町としては、「主要道路や駅周辺」での宅地化が出来ないかと考えている。農村地域では農業投資もされおり、インフラ整備もばく大となることから、まずは、調整区域内の居住地の周辺（近傍）を優先すべきと考えている。
北川原	8月21日	04環境	市街化調整区域の環境保持	市街化の拡大ではなく、現状の保持をお願いしたい。松山市近郊で「美しい田園風景と静かな生活」を求め、約41年前に松山市から移ってきた。塩屋地区のように「工業団地化」となったり、「宅地の乱立」は好まない。原風景を保持して貰いたい。	まちづくり課 産業課	農村風景こそが本町の特徴（原風景）と思っている。こうした町の良さを残しながら、都市計画を考えていきたい。
北川原	8月21日	12その他	町の魅力発信者について	全国的には「返礼品のない」ふるさと納税もある。町の魅力を発信し、興味を持ってもらい故郷を応援してもらうことが本来のかたちであると思う。松前町に愛情を持った若者に町の魅力を発信してもらい、町を盛り上げてゆく考えはないのか。	財政課	町の魅力発信は、頑張っている。また、今後、若者を募ってPRしてゆく考えも検討していきたい。
北川原	8月21日	12その他	自治会	自治会について、高齢化が進んで、脱会していく若い人が増えている。加入を強制できるものではないが、何かしらの手立てがないかと思う。	町民課	他の地区にも共通する悩みであり、また非常に難しい問題でもあり、すぐに答えは見つからないが、検討課題として持っておきたい。
西高柳	9月30日	12その他	manifesto	町長のmanifestoの「見える化」をしてほしい。広報やホームページ等でmanifestoの進捗状況、課題、それにどう取り組むか等を載せてみてはどうか。それを知ることで町民の励みになるのではないか。	財政課	5つの柱を基に政策を盛り込んでmanifestoを作っており、その達成度を示せたらいいなと思っている。それを示す方法として、こういった形がよいか検討してみたい。
西高柳	9月30日	12その他	企業誘致	少子化対策が言われているが、町内で生まれた人が町外に出てしまっただけでは意味がない。魅力のある企業が来れば、若者が町内に残ったり、町外からも入ってくると思う。	産業課	若者に町内に留まってもらうには、企業誘致が大事になるが、そのためには土地が必要であり、農家の方々との調整も必要となる。また、若者に人気のあるIT業界や広告業界の企業などが県内には少ないが、起業家たちが松前に集うような仕組みが作れないか考えていきたい。
西高柳	9月30日	02道路・交通・建物	地域内交通	地域内交通について、バスとタクシーの2WAYはコストがかかる。バスのみの1WAYにして、バスを入れるよう道を抜く、広げる等の検討をしてほしい。	町民課	御意見のとおりバスが入る箇所を増やすために道を抜く方がコストは抑えられるかもしれない。まずは、どこに道が必要かということの研究してみたい。
西高柳	9月30日	12その他	ふるさと納税	ふるさと納税について、ターゲットを絞ってPRできているか。また町内出身の経営者等へのPRもしてはどうか。	財政課	ふるさと納税は、今年度から専門業者に委託して、ネット上でマーケティングをかけているところである。また、松前町出身の経営者等にも県人会等を活用してPRしていきたい。
西高柳	9月30日	02道路・交通・建物	重信川堤防補強工事	重信川堤防補強工事について、伊予鉄の鉄橋から西へ約50m程度の部分の改修工事ができていない。今後の工事の予定は。	まちづくり課	国土交通省松山河川国道事務所に確認したところ、堤防対策工事は計画的に順次進めており、御指摘の箇所についても近い年度に工事する予定であるとのことであった。
西高柳	9月30日	02道路・交通・建物	重信川の土砂の掘削	重信川の川底が上がってきているように感じるが、土砂の掘削が必要ではないか。	まちづくり課	国土交通省松山河川国道事務所に確認したところ、堤防の強化とともに、河川掘削の計画も作っているとのことであった。今後も要望を続けていきたい。
西高柳	9月30日	09観光	「まさき色の風」	ゴミ回収車の音楽が「まさき色の風」から「赤とんぼ」に変わったが、「まさき色の風」の今後の活用予定は。	町民課	「まさき色の風」はレーモンド松屋さんに無償で作成していただき、平成31年4月からゴミ収集の際の音楽として使用を始めたが、当初からゴミ収集時に「まさき色の風」を流すことへの苦情があった。そのため、その後、オルゴール調に変えたりするなど対応をしたが、それでも苦情が続いていたことから、今年の1月に元の「赤とんぼ」へ戻したところである。現在のところ、「赤とんぼ」へ戻したことへの苦情は受けていないため、当面「赤とんぼ」で続けていきたいと考えている。「まさき色の風」の活用については、イベント等で必要に応じて活用していきたい。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
西高柳	9月30日	07高齢者	老人会	老人会の存続が人員的にも予算的にも危うい状況であるが、この状況についての見解を聞きたい。	福祉課	他の地域にも共通する課題であると認識しており、地域コミュニティの存続に対して皆で向き合う時が来ていると思う。今のところ、こうすればよいという明確な回答はないが、今後皆さんと一緒に考えていきたい。
西高柳	9月30日	08農業	北川原地区の設置した重信川からの引水設備	引水設備の格子堰にゴミがたまり、上流側の水位が上昇して溢れる。ゴミを取り除くと水位が40cm以上は下がる。大雨が予測される時は格子堰を外したらダメなのか。大雨時の格子堰のゴミ詰まり、水位上昇越水の対策対応をお願いしたい。	まちづくり課	持ち帰り検討する。 役場、西高柳農業区長、北川原農業区長で現地でスクリーン堰の管理等について聞き取り及び協議を実施。 スクリーン堰の所有者は北川原、管理は西高柳が行っている。北川原と西高柳の合意のもと、10/2からスクリーン堰を撤去し、様子を見ることとした。